

## 出向先の労働条件改善を求めて SMTに団体交渉の申し入れ！

JR東海労新幹線地本は、昨年が続いて、SMTに出向している組合員の要求に基づきSMTに団体交渉の申し入れを行いました。

SMTでは、昨年末から40名を上回る社員が退職しました。退職した社員は「個人の事情」だけで辞めたわけではないと思います。会社に不満をもって辞めた人がほとんどだと思われます。

大掃手当などがなくなったことや3月ダイヤ改正以降作業環境が大きく変わり、疲労とストレスが蓄積していることなどが大きな要因といえます。

また、退職した人は、準社員の方が多くいるということも耳にします。正社員になかなかないということが大きな理由のひとつと思われます。

SMT社員の方々は、寒い日も、暑い日も、忙しい時も、日夜奮闘しています。SMTはこの社員の方々の苦勞にしっかり応えるべきです。

## 安全で明るく働きやすい職場をつくるため共に声を出そう！

また、大勢の社員が退職したことでこの数ヶ月、年休が抑制されほとんど入らない状態が続いています。職場では点呼時に「労働災害防止や体調管理を」

と言っていますが、年休が入らない状況では「体調管理など」といっても到底出来るわけがありません。体調を崩し、治療を余儀なくされている人もいます。



JRもSMTも職場に多くの問題が山積しています。しかし、SMTは今の現状を変えようとする姿勢が見られないのが現実のようです。

問題は黙ってでは解決されません。現状を変えるためには「おかしいことはおかしい」と声を出すことが必要です。勇気をもって皆で会社に向かって声を出していきましょう。

# 主な要求は以下の通りです！

(要旨)

## I. 大井日勤事業所および大井夜勤事業所に関する事項について

1. 3月16日ダイヤ改正を機に大井事業所は、統合され大幅な体制見直しが行われました。しかし、作業の複雑さや事前の説明不足もあり、加えて設備・作業環境の悪化もあり恒常的なストレスが蔓延しているといえます。従業員が体調を崩し、いわゆる不参となる事象も連日発生していると聞きます。この現状についてどのように認識されているのか明らかにして下さい。
2. 昨年末から現在までの短期間に多くの従業員が退職されています。聞くところによると40名を上回る人数に達するともいわれ、特に統合前に顕著に現れました。そして、今なお続いていると聞きます。なぜこれだけの方々が急に退職されたのか、そのことに対して御社はどのような認識にあるのか明らかにして下さい。
3. 短期間に大勢の方々が退職されたことで、この数ヶ月年休抑制が続いています。申請しても全く取得できません。また、いわゆる超勤（休日出勤）が連日発生しています。したがって年休がとれるように十分な要員の確保を求めます。あわせて、これ以上の個々の事情によらない退職を生み出さないために、賃金面での待遇改善や準社員から正社員への登用を大量にはかるなど環境改善も同時に求めます。（JRにも業務委託する費用を増やし、関連会社社員の労働条件改善を求めました）
4. ダイヤ改正から大井事業所が統合されJKビルに集約されました。そのため、ロッカー室も詰所も点呼場も手狭となっています。また、洋式トイレも不足するなどの状況となっています。点呼場でのストレッチ体操は隣の人とぶつかりとても体操といえない状態になっています。このような状況を解消するために、点呼場のスペースを拡大したり、詰所を別に確保するなどゆとりある作業環境にすることを求めます。

この他にも、確実な勤務把握のため勤務表のコピーの許可（体制見直し以降勤務・班体制が複雑になっているため）、交検がない日の7時45分、17時35分、17時45分の通勤バスの増設、3時10分終業の勤務のための4時より早い便の新設なども要求しました。



**黙っては何も変わりません。**

**労働条件改善に向け共に声を出しましょう！**